

【令和3年度 京都市立下鴨中学校 学校経営構想】

1 学校教育目標

主体的に創造し、自己実現できる生徒の育成

2 目指す生徒像・教職員像・学校像

〔目指す生徒像〕

○自分の考えをもち、他者とのコミュニケーションの中で、自分の意見や考えを深めたり創造したりして伝えることができる生徒

○学習・生活の自律を通して、確かな学力を身につけ科学的思考ができる生徒

〔目指す教職員像〕

○熱意と使命感、実践力のある教員

○生徒理解に努め、信頼される教員

○先見性と向上心あふれる教員

○コミュニケーション力があり、教員と教員の絆を深める努力をする教員

〔目指す学校像〕

○信頼されるひとになろう 協働できる心をもとう 自分の夢を実現しよう

3 学校経営方針

1. 「教育目標」「目指す生徒像」「目指す教職員像」「目指す学校像」を達成するために報告・連絡・相談を密にする中で教職員の意識改革を図るとともに、若手教員を軸にミドルリーダーを中心とした創造的、組織的な学校運営を推進する。
2. 生徒が自分の夢や目標に向かって、自分の道を切り拓いていけるよう、能力をひきだす学校づくりを行う。
3. 各種調査結果の分析と共通理解の上で、研究主任を中心として組織的に授業改善に取り組み、そのための研究を推進する。
4. 学校評価計画に基づいて生徒の実態や意識・保護者の願いを把握し、評価結果を基に学校運営の検証と改善を行う。

5. 義務教育9年間の一貫した豊かな学びと育ちを支える指導の充実を図るため、小中連携主任を中核にして校区内3小学校と連携する。
6. 学校運営協議会を中核として外部人材を活用し、開かれた学校づくりを推進する。
7. 関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を行う。

4 本年度の重点目標

1. 本校の教育課題を克服するために、教職員一人一人が研究推進に努め、スキルアップを図る。
2. GIGA スクールの導入にちなみ、各教科・領域において、そのねらいを達成するために言語活動を取り入れ、新学習指導要領に準拠した「主体的・対話的で深い学び」を実現する。そのために、「情報メディアセンター」としての図書館活用、ICT活用に積極的に取り組む。(タブレット利活用の教職員の研鑽と研修を図る)
3. 生徒の状況に鑑み、適切な家庭学習課題を提供するとともに、その活用による授業改善を行う。
4. 各種調査の結果や質問紙・アンケート・学校評価などにより生徒の変容を逐次確認、共有し、本校が抱える教育課題を明確にする。その上で、さまざまな学習指導のあり方を研究し、質の高い学びを継続的に提供できるようにする。
5. キャリア教育を軸として、系統的に教科横断型の総合的な学習の時間を運営することで、生徒が自分の夢や目標を持ち、未来を切り拓いていけるような進路指導を行う。
6. 命を大切にし、自分も仲間も大切にし、大切にされているという実感が持てる心や態度を育てるために道徳教育や人権教育の充実を図る。
7. 不登校生徒や困りを抱えた生徒に対する積極的な支援を図るとともに、生徒の自主的な活動や自己実現を保障するために、生徒会活動の活性化を進める。
8. 生徒指導体制や取組の強化・充実を図り、生徒の自己指導力を高める。
9. コロナ禍における新しい教育活動への積極的アプローチと発想転換、また独創性と主体性のある教職員の企画立案に基づいた下鴨ウボ体制の確立と強化を展開する。